

令和5年度厚生労働省保健福祉調査研究受託事業
災害福祉支援ネットワーク中央センター全国研修

2024.Mar

令和6年能登半島地震災害における
群馬県災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）の
1.5次避難所での対応について



3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



ぐんまDWAT 先遣隊

理学療法士 南川 基治



○石川県庁にて情報交換

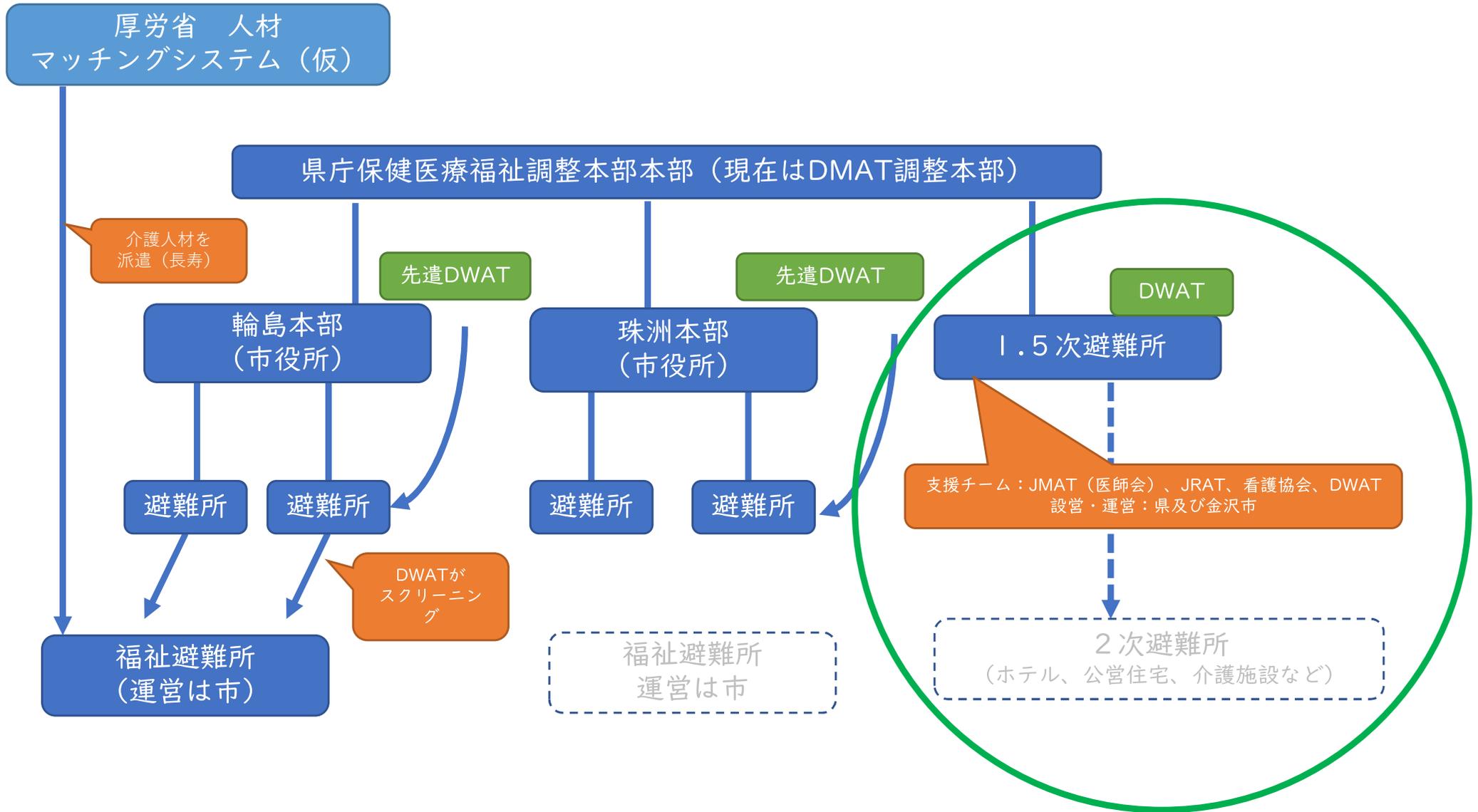
- ①被害の大きい輪島市、珠洲市からDWAT派遣希望の声
- ②登録員に呼びかけてみたもののエントリーは15名程度（2日前は4名程）
- ③新たに1.5次避難所を金沢市に設置し、能登北部の要配慮者を受け入れる。

⇒③について、被害のない地域の登録員に呼びかけを行い、地元中心にDWAT活動を行うことは出来ないか？

⇒②については、研修の案内等でも協力してもらっている県社協に協力をお願いできないか。

⇒①については、医療チームや行政保健師からの情報でも、簡易トイレ、寝袋持参、避難所内での寝泊まり、道路事情によるタイヤのバースト等、支援活動の展開イメージが作りにくい状況があったため、能登北部の調査を行っている医療チームの拠点が七尾市の公立能登総合病院であったため、医療チームから詳しい情報を聞いてみてはどうか。

DWATミッションの概要



1.5次避難所の開設について

<概要>

- 能登北部の**要支援者**（高齢者〔65歳以上〕、妊婦、乳幼児、障害者）を被災地の1次避難所から、ライフラインの整った**金沢市内の1.5次避難所に搬送**
- スクリーニングした上で、ホテル等の2次避難所（妊婦や集団生活できない精神疾患患者等）や病院（医療が必要になった人）に搬送

<実施期間>

- 始期：1/8（月）～ 終期：被災地の仮設住宅が整備されるまで

<場所>

- 1.5次避難所：**いしかわスポーツセンター メインアリーナ**
- 2次避難所：ホテル・旅館、公営住宅、民間賃貸住宅、介護施設等



被災地

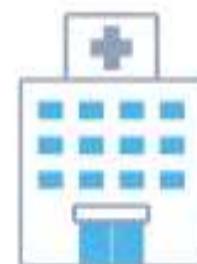


1.5次避難所 定員：400人
(いしかわスポーツセンター)

スクリーニング (ホテル・旅館、公営住宅、介護施設等)



2次避難所



病院

被災地への避難（2次避難）について

1 対象者

要配慮者の方

(65歳以上高齢者、妊婦、未就学児、障害をお持ちの方)

※保護者、介助者など同伴者も可能です。

2 期間

令和6年1月8日（月）

～ご自宅の復旧や仮設住宅等への入居まで

3 集合場所

集合場所 輪島市 ○○○ 1月8日（月）○時
珠洲市 ○○○ 1月8日（月）○時

4 避難先

①一時的に **いしかわ総合スポーツセンター** で
お過ごしいただきます。

- ・避難所用テント、段ボールベッド、簡易間仕切りを設置
- ・看護師が常駐（日中の時間帯は医師も配置）

②準備が整い次第、**2次避難所（ホテル・旅館など）** に
ご案内いたします。

①いしかわスポーツセンター



一時的にお過ごしいただきます。
準備が整い次第、ホテル等にご案内
いたします。

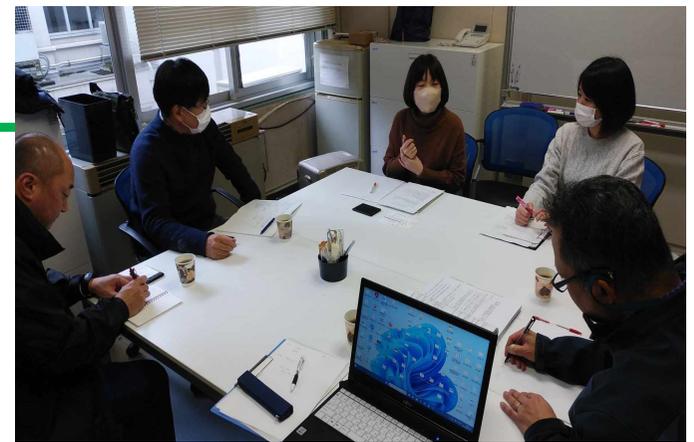


②ホテル・旅館、公営住宅等



自宅・
仮設住宅等

②石川県社協へ訪問・情報交換等の実施



○石川県社協にて情報交換

- ①施設への物資支援等を検討中
- ②被害状況確認ができない施設も多い
- ③DWATの派遣調整を手伝うとしてもノウハウがないので、どのように取り組んだら良いか…。

⇒①可能な対応等を今後も継続して整理していく

⇒②については、厚労省で確認しているリストを提供。

⇒③については、過去のDWAT派遣の際に使用した登録員への呼びかけ文書を参考に下書きを行うとともに、1月末までのシフトイメージを共有し、シフト表の作成支援を行うことで、初動部分をサポート。

③七尾エリアへの先遣調査 1/7



○医療チームの活動拠点となっている七尾市にある公立能登総合病院へアプローチ

①医療チームはこの病院を拠点に能登北部エリアへの支援を展開している。

②避難所の巡回及び情報整理については、日赤の医療チームが担当。

③福祉施設の被害状況確認及び情報整理、応援職員の必要性等の整理を担当する医療チームも存在。

④七尾市、志賀町の避難所においても、福祉ニーズの高そうな避難所が何カ所かあることを確認。

その中の一つ七尾サンライフプラザは、石川DWATのフォローアップ研修の会場となった施設。

⇒七尾市及び志賀町での支援イメージを整理。



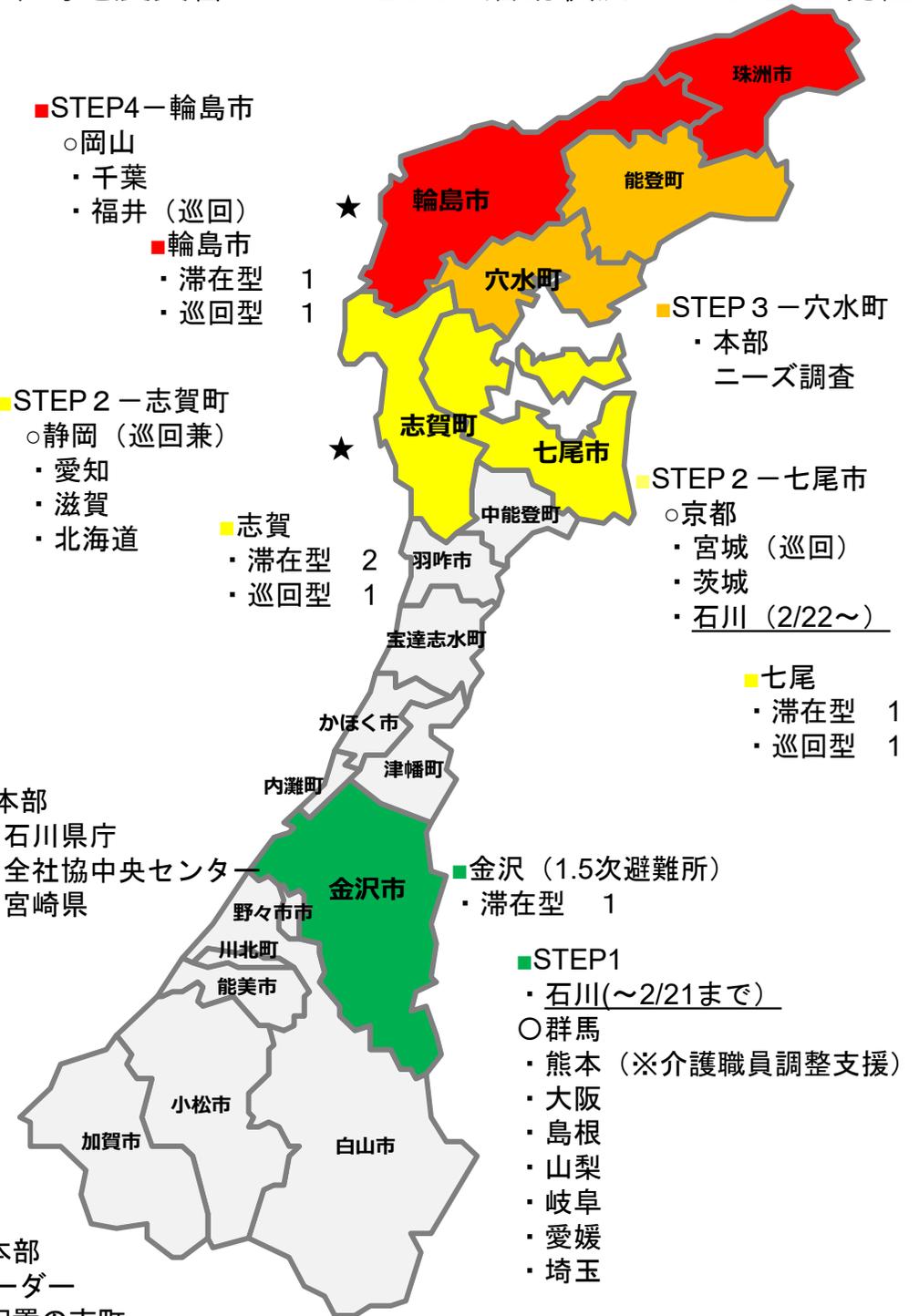


- STEP4－輪島市
 - 岡山
 - ・千葉
 - ・福井（巡回）
 - 輪島市
 - ・滞在型 1
 - ・巡回型 1

- STEP2－志賀町
 - 静岡（巡回兼）
 - ・愛知
 - ・滋賀
 - ・北海道
- 志賀
 - ・滞在型 2
 - ・巡回型 1

- 本部
 - ・石川県庁
 - ・全社協中央センター
 - ・宮崎県

- STEP1
 - ・石川（～2/21まで）
- 群馬
- ・熊本（※介護職員調整支援）
- ・大阪
- ・島根
- ・山梨
- ・岐阜
- ・愛媛
- ・埼玉



○石川DWATの初陣

- ・当日のみの参加者を含め、7名が参加。
事務局（県・県社協）から2名が参加。
- ・県庁にてブリーフィングを実施してから会場入り。



⇒活動のサポート役として、活動経験のある以下の3名を緊急招集。

- ①京都DWAT・今井氏
- ②静岡DWAT・高杉氏
- ③ぐんまDWAT・南川氏

※前日の夜、DMAT、県行政と福祉的避難所としてのイメージ共有、様式の再整理を実施し、入退所情報の整理と退所後の見守り体制についても検討。





⑤ 「介護待機ステーション」の設置 1/9



○能登北部エリアの福祉施設

- ・ライフライン（上下水道、電気）が復旧しない
- ・介護職員も被災している
- ・食事や衛生用品も限りが有る

⇒運営面で課題を抱える施設への支援策として、利用者をライフラインの安定している場所に一次的に移し、二次避難先を調整するまでの待機場所を確保する方策としての取り組み。

⇒DMAT本部会議で協議しているものを、DMATラインにて伝達。

⇒子どもの遊び場として使用していた「マルチパーパスエリア」を使用する方向となり、調整が難航。

◆ 広域避難フロー図 ◆



被災地の高齢者介護施設等からの要介護・介助者避難

石川県内の
高齢者施設
障害者施設
ほか

県外の
高齢者施設
障害者施設
ほか

石川県立中央病院

機能回復した
元の施設

要介護・介助（医療の必要性が低い）

要医療

運営支援団体（企業等）



看護・介護系支援団体
DMAT・DPAT・JRAT・日赤他医療圏支援団体
JWAT他 福祉系支援団体
NPO/NGO 他

石川県内・県外の病院

いしかわ総合SC避難所内 介護待機ステーション※

長寿社会課（石川県が設置・運営）
障害保健福祉課

長寿社会課
障害保健福祉課

県内外の
高齢者施設
障害者施設
ほか

※介護待機ステーション
被災地での介護等の支援が困難な被災者に対して、
必要な介護・介助を提供した避難生活を支援しながら、
同時に適切な被災地外の社会福祉施設の入所を調整する施設。

⑥ 1.5次避難所の増床及び「介護待機ステーション」の拡大 1/12～

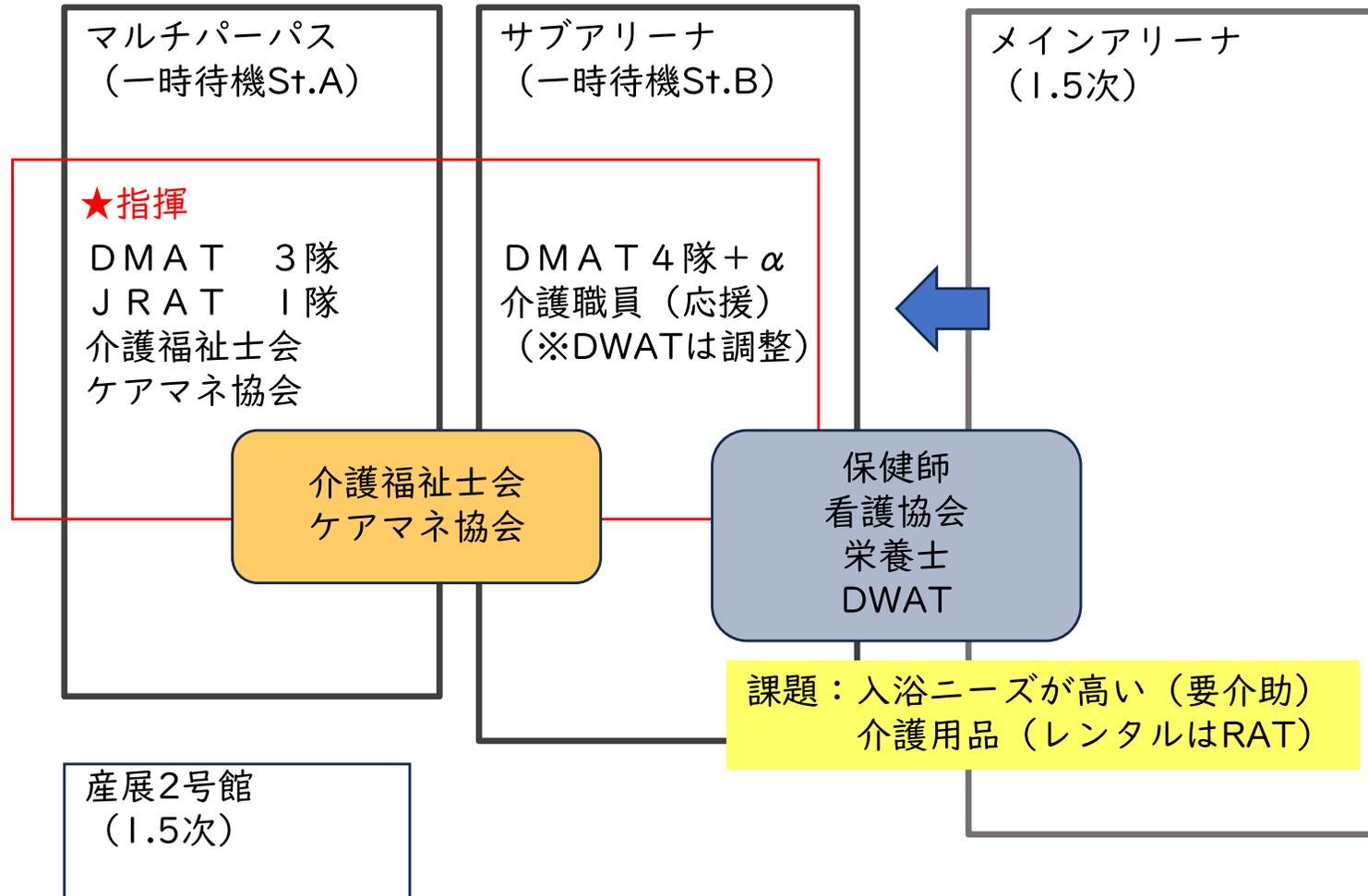
- 産業展示館2号館を新たな1.5次避難所として増床（環境政策課所管）
 - ・比較的自立度の高い方の避難先として活用を想定。
 - ・支援者は保健師の巡回のみを想定。

- いしかわ総合スポーツセンター・サブアリーナへの1.5次避難所の増床
 - ・メインアリーナへの避難者で介助が必要な方等を想定し、移送を予定。
 - ⇒ 看護協会が夜間のトイレ対応等に難航したことから、24時間ケアができるスタッフでの見守りの必要性を強調。
 - ⇒ 県介護福祉士会＋日本介護福祉士会の応援は、マルチパーパスプラザの「介護待機ステーション」のケア体制で手一杯。
 - ⇒ マッチングシステムでの介護職員応援派遣を充当することで調整を検討。

- ◎施設入所者のステーション避難が定員超過となり、サブアリーナは介護待機ステーションBとして活用されることになった（DMAT管轄）。

■いしかわ総合スポーツセンター＋産業展示館2号館（1.5次避難所）

1/15～



③待機ステーションA

介護福祉士会
ケアマネ協会

1F

②待機ステーションB

DWAT
+
介護職員応援

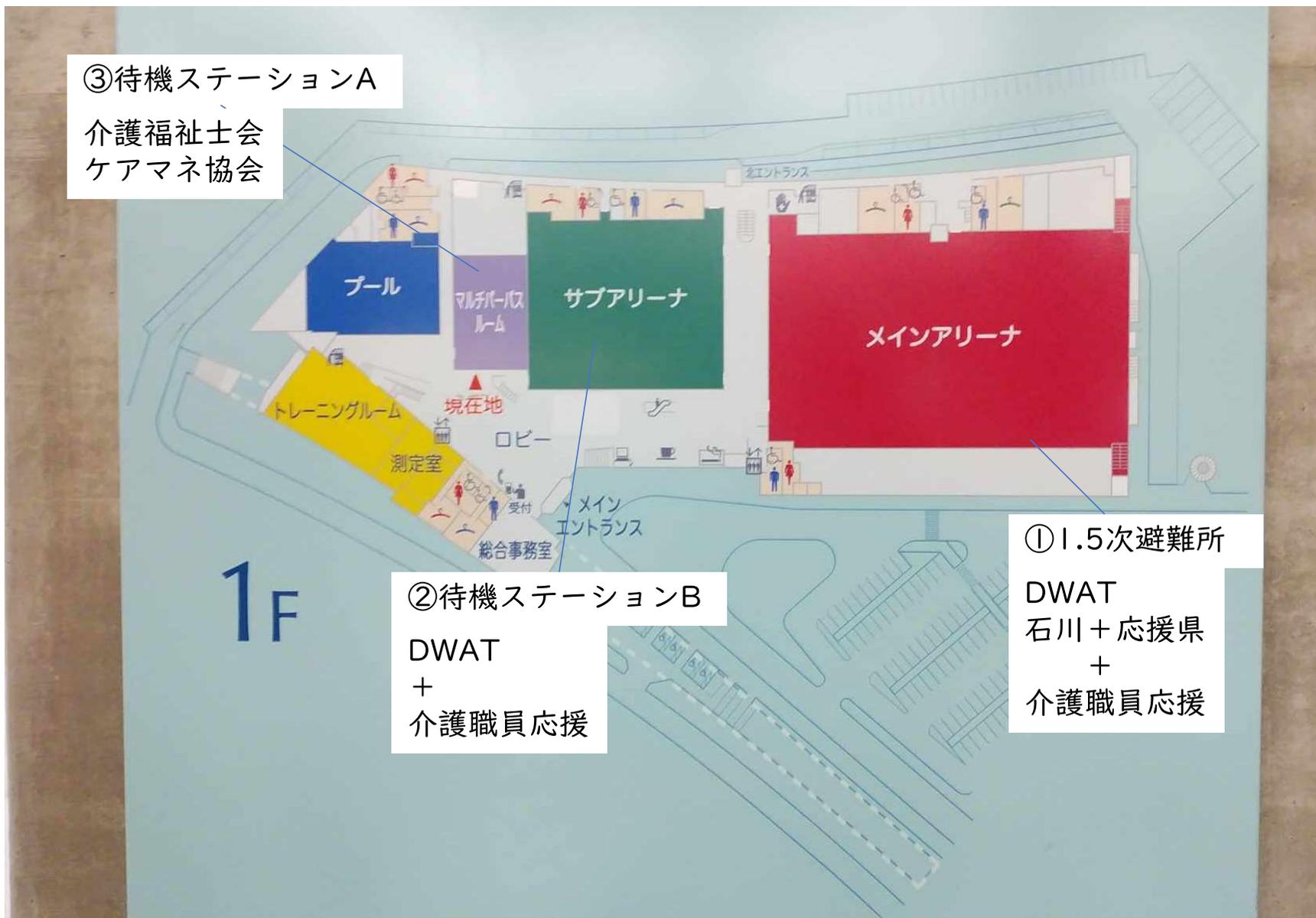
①1.5次避難所

DWAT
石川+応援県
+
介護職員応援

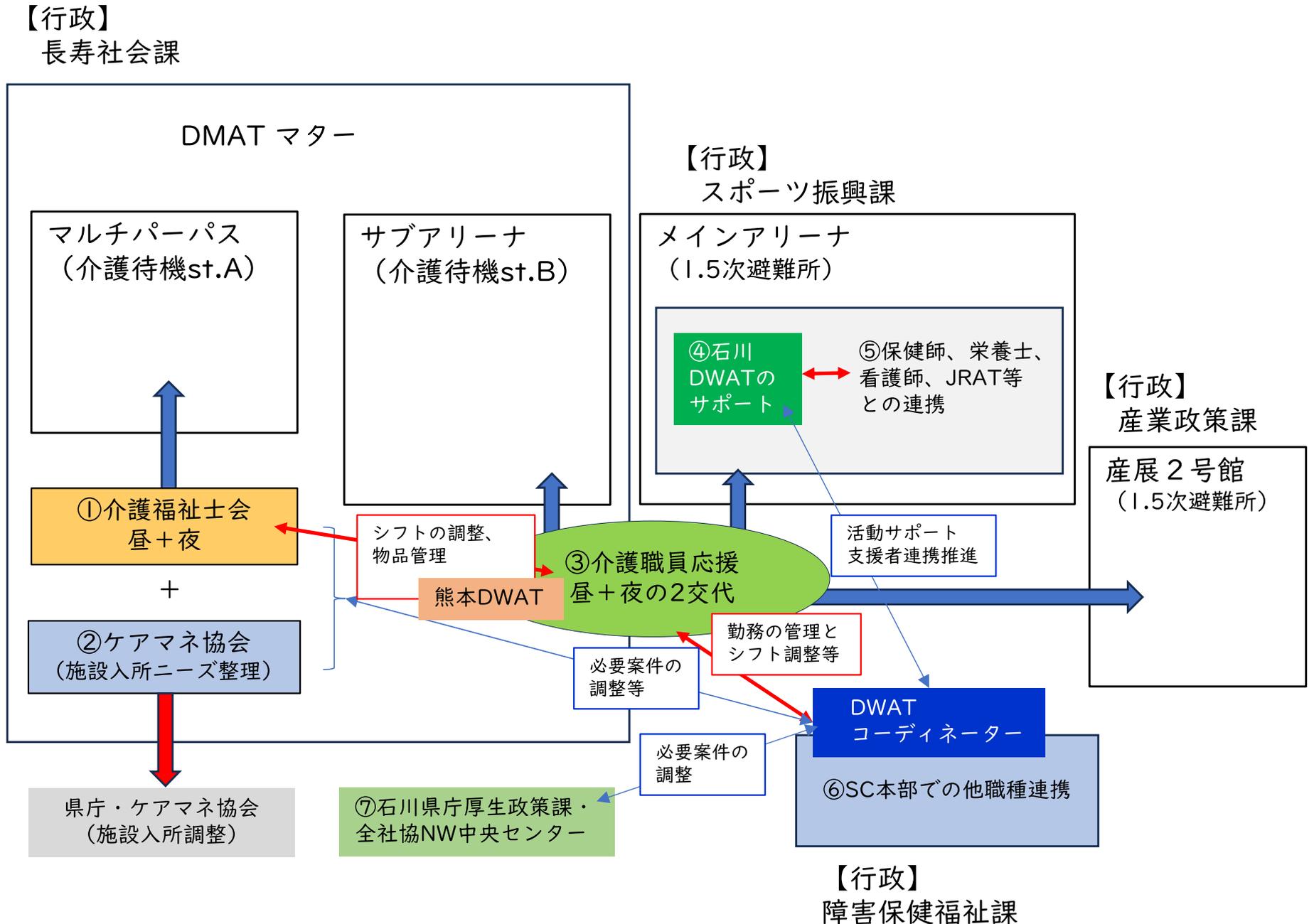
④産展2号館

介護職員応援

⑤小松市



★DWATコーディネーターの現状の役割（イメージ）



⑦ 石川DWATの活動展開に向けて…

○被災していない金沢を中心にチームを編成

⇒ 1.5次避難所の支援へ

○活動時の意識共有へ向けて

⇒ 石川DWATセブクレドの整理

令和5年11月の石川DWATフォローアップ研修の折、参加者より活動時に大事にしたいことをキーワードで発信いただいた内容をこの活動に際して、整理。

〈7つのキーワード〉

- ・ 誠実
- ・ 信頼
- ・ 謙虚
- ・ 連携
- ・ 地元主体
- ・ 思いやり
- ・ ワンチーム

The Seven Promises of ISHIKAWA Disaster Welfare Assistance Team

～ 石川DWAT 7つの約束 ～

誠実

Sincerity

信頼

Confidence

謙虚

Modesty

連携

Cooperation

地元主体

Community centered

思いやり

Consideration

心を一つに

One Team



● ぐんまDWAT地域リーダー活動振り返りシート（1月分）

	①派遣期間中 対応を求められたこと	②対応の際の留意点、 苦慮したこと
1	避難所の入所受付で、当初は行政が行う予定で身体状況によってテント位置を調整するので、福祉的見解が必要ということで受付業務を担当することになった。	当初予定していた人員配置が崩れたことで、石川チームのリーダー、県庁との連絡・調整、全体コーディネートを群馬1名で行うこととなり、目が届かない部分が出ることで石川チームに相当な負担が掛かっており、就業時間を大幅に過ぎる活動時間になった。
2	相談窓口でケアマネと連絡が取れない、介護サービスを新たに使いたい、介護保険を新たに使いたいなどの相談あり	被災地の役所やケアマネとは連絡が取りづらいことと、1.5次避難所の管轄する包括支援センターにかなり業務負担をかけた。 現状はケアマネ協会が施設マッチングを行っており、2次避難先の包括支援センターに繋いでいる。

● ぐんまDWAT地域リーダー活動振り返りシート（2月分）

	①派遣期間中 対応を求められたこと	②対応の際の留意点、 苦慮したこと
1	地域リーダー制度の開始	1月中は地域リーダー制を導入しておらず、石川リーダーに応援DWATから指示、依頼、提案などが直接行くことになりリーダーの負担がかなりかかっていた。2月から地域リーダー制になり、組織図を周知することで指揮命令系統が確立し、情報伝達等がスムーズにすることが出来た。
2	地域リーダー、ロジスティクスの マニュアル作成	地域リーダー制が始まり、県内でも内容を周知すると共に、引継ぎ時の時間短縮のためマニュアルを作成し、事前に読んでおくこととした。

● ぐんまDWAT地域リーダー活動振り返りシート（3月分）

	①派遣期間中 対応を求められたこと	②対応の際の留意点、 苦慮したこと
1	スポセンのクローズ見立て	産業展示館からの移動が終わり、メインの入所がこれ以上増えない状況になり、DWAT撤収時期を検討することになった。3月初旬でそろそろ4月の全国DWAT募集もかかり、避難者の行き先アセスメントを今後開始し、ADL評価と施設マッチングを全人数行うことを考慮して4月末にDWAT撤収することを目標設定をし、活動チームに周知した。
2	スポセンサブの直接介護人員の見立て	サブアリーナの介護職員が自施設と比べ約4倍の配置と非常に多い印象で、中央センターからの依頼で活動人員の見立てを行った。